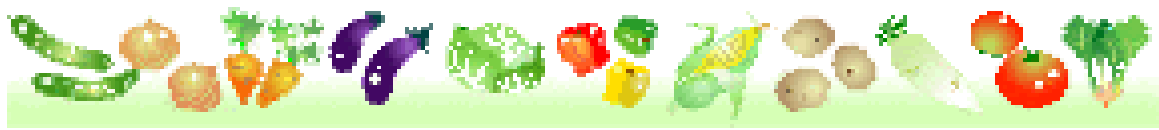


浜通りと会津の食で絆づくり交流会

会津地方に避難している浜通り・会津地方の方で郷土に伝わる食を通じた交流を行うことで、お互いの食生活や地域の文化に理解を深めることを目的として、講師に鈴木真也氏をお招きし、会津地方の郷土料理、浜通りの料理を調理・試食し、交流会を行いました。



12月6日 会津若松市勤労青少年ホーム

会津若松市民 8名

大熊町民 14名

(内容) 会津の郷土料理であるこづゆ、ニシンの山椒漬け、魚料理であるニシンのぬか漬け、炊き込みごはんなどを調理し、試食した。その後、大熊町の方から、大熊町に伝わる民話が披露されました。

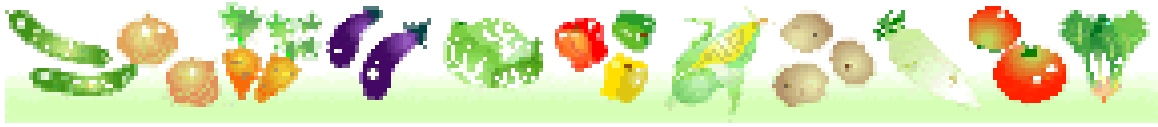




会津地方の方、浜通り地方の方の混合グループで調理しました。お正月に伝統的に食べるものについての質問や、各地方の風習など、食を通したさまざま会話をしている様子が伺えました。



大熊町ふるさと塾の皆様から、参加者に大熊町の民話を披露していただきました。大熊町の参加者の中には、ふるさとの風景を思い出して涙する方もいらっしゃいました。



12月9日 会津美里町保健センター

会津美里町民 10名

楢葉町民 5名

(内容)まず、講師の鈴木真也先生から郷土料理のお話をいただき、その後、各班に分かれて会話を楽しみながら調理し、試食しました。



会津美里町、楢葉町両町から、4名もの男性の方に参加いただきました。

お互いの話をしながら、にぎやかに調理を行っていました。

